

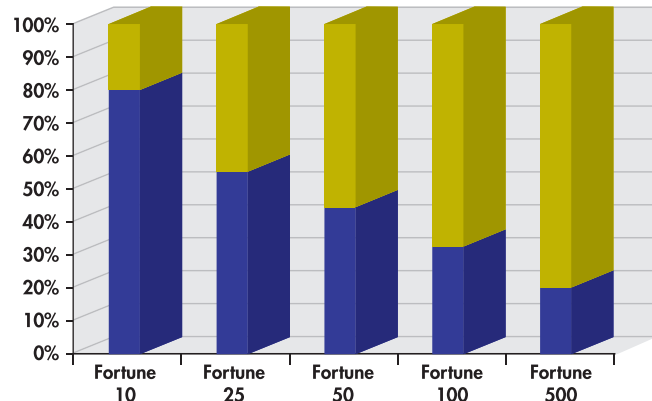
▼ 導入実績

Eメールファイアウォール (EMF) は、全世界700社以上の企業で利用されています。米Fortune誌の企業ランキングにてトップ10社のうち8社がEMFを採用しています。米国内上位10の銀行のうち9行がEMFを採用しています。米国の全ての軍がEMFを採用しています。

■タンブルweed・コミュニケーションズ社について
1993年に米国カリフォルニア州レッドウッド市で設立されたTumbleweed Communications Corporation (NASDAQ: TMWD)は、Eメールセキュリティに関連したソフトウェアの研究開発を行い、インターネット利用による電子メールソリューション「Tumbleweed MMS」(Messaging Management System)を全世界に先駆けて発表、Eメールセキュリティのリーディングカンパニーとなっています。



※タンブルweed社調査



▼ システム構成例

EMF 6.X 動作環境

サーバハードウェア

CPU : Pentium4 processor 2.0GHz 以上
(Dual CPU 以上を推奨)
Memory : 1GB 以上 (2GB 以上を推奨)
Disk : 80GB 以上 (30GB 以上の空き容量)

*サーバの Memory と Disk 容量は受信するメール数やポリシー定義の内容により異なります。

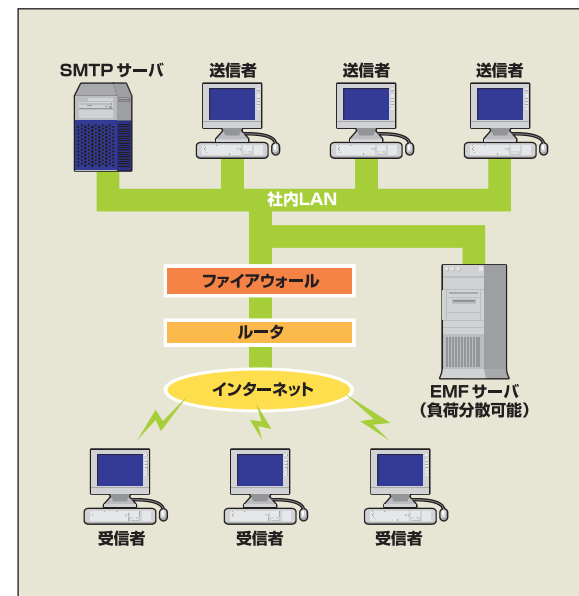
サーバソフトウェア

OS: Windows Server 2003 Standard Edition
or Windows Server 2003 Enterprise Edition
SQL Server 2000
or SQL Server 2000 Enterprise Edition
IIS 6.0 or NES 6.1

管理ソフトウェア

Browser: Internet Explorer 6.0
Netscape 7.2

EMF サーバの設置例



米国トップ企業が選んだeメールセキュリティソフトウェア

米Fortune誌の企業ランキングにてトップ10社のうち8社がEMFを採用しています。



E-mail Firewall & SPAM Filter
Eメール・マネジメント・パッケージ



URL ▶ <http://www.Email-Firewall.jp>

TOPPAN FORMS

日本国内販売代理店

トッパン・フォームズ株式会社

IMS統括本部 Tel 03-6253-5745
〒105-8311 Mail mmsinfo@toppan-f.co.jp
東京都港区東新橋1-7-3 URL <http://www.Email-Firewall.jp>

開発元



Tumbleweed Communications
<http://www.tumbleweed.com>

記載されているすべての社名および製品名は各社の商標および登録商標です。製品の仕様、価格等は予告なしに変更する場合があります。詳しくは、右記の連絡先にご連絡いただくか、担当営業にお申し出ください。

メール・マネジメント・パッケージ MMPは電子メールに潜む様々なリスクから貴方の会社を守ります。

MMP

Eメールファイアウォール (EMF)
+
スパムフィルタ (DAS)

メールマネジメントパッケージ (MMP)は、情報漏洩による企業ダメージを未然に防ぐ「Eメールファイアウォール(EMF)」と生産性を下げる無駄なスパムメールを識別・排除する「スパムフィルタ(DAS)」をパッケージ。今までノンセキュリティで送っていた添付データやテキスト文を暗号化・電子署名することも可能な企業向けメールセキュリティのトータルソフトウェアです。

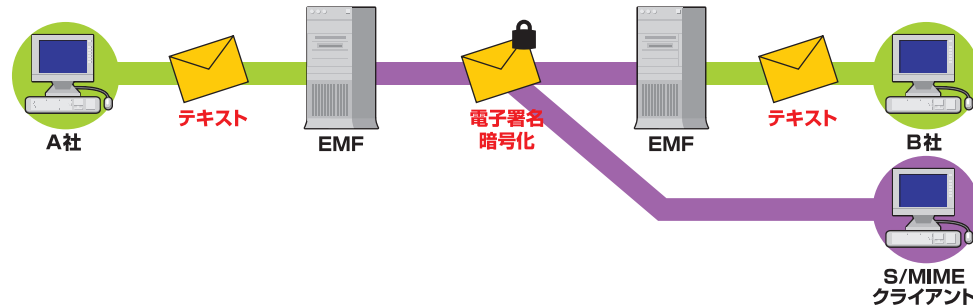


製品機能

Eメールファイアウォール E-mail Firewall:EMF

➔ S/MIME暗号化／電子署名機能

通常eメールを暗号化する場合、個人毎に鍵の設定・管理という大変な作業が必要となります。EMFは、サーバベースで自動的に暗号化を行いますので、クライアント側で何も操作する必要がありません。グループ企業間や本支社間でのeメールネットワークをより強固に統合することが可能です。また、eメールの暗号化における世界標準規格であるS/MIMEを採用しておりますので、Outlook Express等のS/MIMEクライアントとの暗号化通信も可能です。



➔ アクセスコントロール／コンテンツフィルタリング機能

アクセスコントロール

eメールの送信者・受信者などのヘッダ情報に基づいて、eメールの配送をコントロールします。これにより、誤送信等の配信管理が行えます。また、大容量データの遅延配送を行うことによる、ネットワーク負荷の軽減や、送信時にヘッダ情報に追加される内部ドメイン名などを削除することも可能です。

コンテンツフィルタリング機能

eメールの本文や添付ファイル (Word, EXCEL, PDFなどのアプリケーションファイルも含む) の内容をキーワード検索することができます。

キーワードは、カテゴリ毎の登録 (辞書機能) やスコアリング設定により、より検挙率の高いコンテンツチェックが可能となっています。またポリシー適合時のアクションも豊富で、企業の様々なeメールの運用規定に適用が可能です。

【チェック項目】

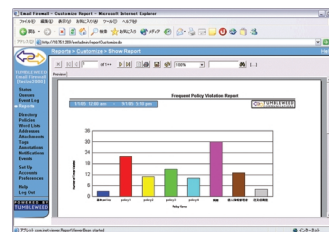
1. To/From
2. Subject
3. プライオリティ
4. サイズ
5. 日付
6. 本文
7. 添付ファイルの有無
8. 添付ファイルフォーマット
9. 添付ファイル名
10. 添付ファイル

【処理】

1. TO, CC, BCC を使用して受信者を追加
2. 通知または警告の注釈を添付 (メール内に追加、添付)
3. Subjectへメッセージを追加
4. 通知メールを受信者、送信者、管理者などに送付
5. メールを削除
6. メールを送信者へ返却
7. メールを隔離 (権限者が確認後処理)
8. 添付ファイルを削除
9. 保存
10. 待機後配信
11. オフピーク配信

➔ ログ／アーカイブ／レポート機能

管理者は、eメールに関するLogを監視することができます。メッセージ容量やキーワード違反等いくつかの項目に関して、リアルタイムに、統計情報が出力されます。また、ログが保存されているデータベースのスキーマは公開されており、さらに高度な統計が必要なユーザは、状況に応じたカスタマイズすることも可能です。



➔ メールウィルス駆除機能

システム管理者の頭を悩ませるもの一つにウィルス対策が挙げられると思います。個人毎にウィルス対策を行っている場合、誰かが、パターンファイルの更新を忘れてしまうと、そこから進入したウィルスにネットワーク全体が犯されてしまう危険性があります。EMFのウィルス検索は、ネットワークアンソシエイツ社のOlympus Anti-Virus scanning engineを使用し、サーバベースでの一括管理が可能です。

また、暗号化されたeメールはウィルスが添付されていたとしても通常のウィルスチェックでは検知・駆除することができませんが、EMFではS/MIME機能との併用により、その検知・駆除が可能です。



米国 Network Associates 社のエンジンを使用しています。

スパムフィルタ

➔ スパム識別・排除機能 (DAS:ダイナミック・アンチ・スパムサービス)

インターネットを活用している企業にとって、激増するメールは大きな問題となっています。調査会社のデータでは、1日に全世界で流通する eメールの総数が、2003年の310億通から、2006年には600億通に倍増するとされており、その7割がスパムメール (迷惑メール) になると予測されています。

企業は受信メールからスパムメールなどの迷惑/不要メールを選び分けるという面倒な作業に、今以上の時間を費やさなければならず、ただでさえ悪影響がおよんでいる生産性が、ますます低下していくこととなります。

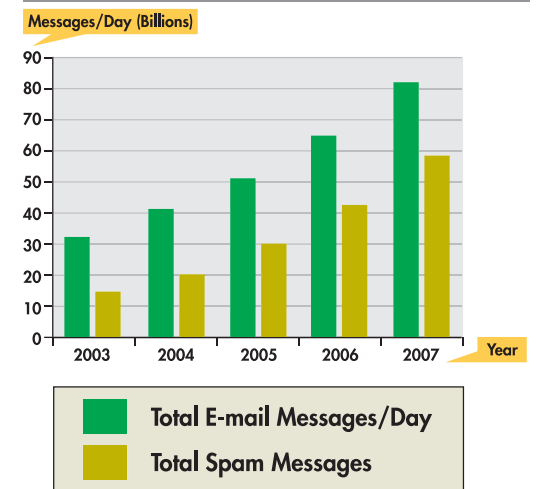
また、企業がスパム対策の措置を取らない場合、スパムを管理・処理するために新たに展開しなければならないサーバのコストから見ると企業の損失額が、2003年の20億5,000万ドルから2007年には1,980億ドルに達すると試算されています。一万人のユーザーを擁する企業は年間1メールボックス当たり49ドルをスパムメッセージの処理のために費やすことになり、企業のスパム対策は必要不可欠なものといえます。

MMPのスパム識別・排除機能は、高度な技術を用い、安全にかつ容易にスパムメールの排除ができるサービスです。

タンブルウィード社のメッセージ・プロテクション・ラボでは、世界中から集められたスパムメールを解析し、スパムパターン認識ファイルを各ユーザー毎日に数回配信しています。eメールの管理者は特別なスパム対策のポリシー設定をしなくても、スパムパターンがサーバに自動更新され、MMPが自動的にスパムメールを排除します。

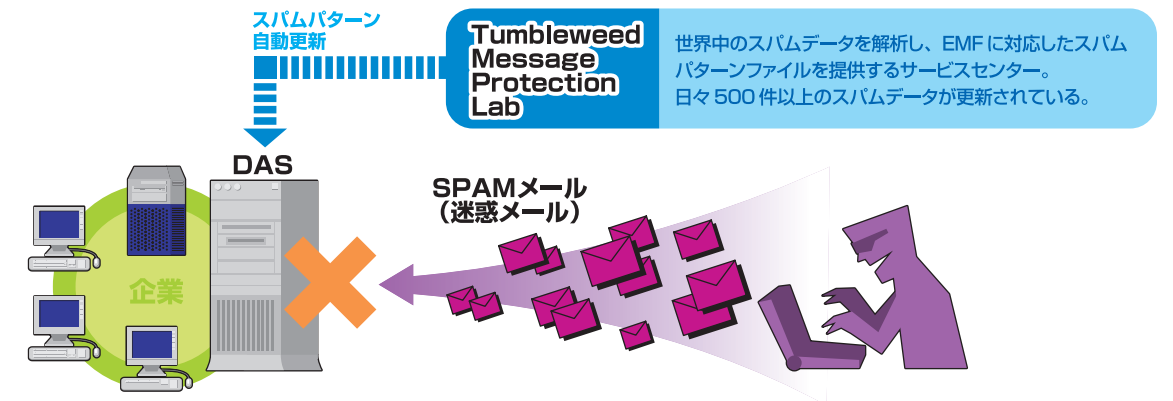
Dynamic Anti Spam: DAS

Spam Growth Forecast, 2003-2007



Source: The Radicati Group

Tumbleweed Message Protection Lab



製品特徴

大規模なシステム構築は不要

EMFがインストールされたサーバをネットワークに接続するだけです。

幅広いシステムに対応

EMFはWindows Server 2003で動作しますが、SMTPゲートウェイ機能により、メールサーバ等その他の環境は一切変更せずにご利用いただけます。

導入が容易なライセンス形態

ライセンスはCPUライセンスもしくはユーザー数ライセンスをお客様の構成に合わせて選択いただくことができます。

豊富な機能

企業における電子メールの規定に沿った形で運用いただけるよう、ポリシー設定やアクション等豊富な機能を備えています。